



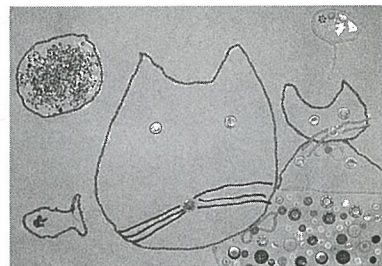
4年 土屋晴美さん

四年
こよびろ
晴美

※「よの2画目
がむずかしか
つたです。
ろ」が上手に
書きました。



1年 ひらやまくみさん



『かわいいねこ』

※けいとやボタ
ンをつかつて
ねこをつくり
ました。とて
もたのしかつ
たです。

あつまれ みんなの 力作



『ナップザック』



5年 平山敦史君

※まつすべにぬ
うのはよくて
きたけど、口
の開きどまり
がむずかしか
つたです。



『かまきりと遊んだよ』



2年 萩原美香さん

※絵の具のませ
かたをくふう
して、秋のか
まきりの色を
作るのがたい
へんでした。



6年 布施清香さん



『けしゴム』

※デザイン画は
初めてですが、
けしゴムのか
すが上手にで
きてよかったです。



3年 大木友里恵さん

小三 大木 友里恵
ビル

※カタカナなの
で、形をとる
のがむずかし
かったです。
「はね」がよく
できました。



山崎 てい (二又)
心電図結果待つ間やそぞろ寒
精密検査であろうか。結果を案じ
て揺れ動く作者の気持が下五に表
白されて居る。

越川せつ子 (篠本)
鶺鴒に怠け心を叩かるる
川原などで絶えず尾を上下に振っ
ている鳥。夏の蟻ならぬ鶺鴒が作
者の心を打つ。

椎名 静子 (二又)
深秋や下駄ひたひたと修業僧
擬音から言って歯のすり減った下
駄であろう。修業僧の足音が深ま
る秋の感を漂わす。

川島 重一 (尾垂)
さみしさや五指にまつわる木の葉髪
鈴木とし子 (宝米)
秋深し味噌豆匂う外かまど
伊藤 幸枝 (尾垂)
伯父逝きて七七日や菊の花

今月の季題「木の葉髪」は白髪と勘違
いして作った作品が多く残念ながら割愛
しました。
諺にある「十月の木の葉髪」であり俗
に言う「秋の脱毛」のことです。

短評 椎名しげる

